



～あいさつの響き合う家庭・学校・地域づくり～

みんなが繋がる市民運動会

4年ぶりとなる市民運動会が5月14日に開催されました。三中校区学校運営協議会では、子どもたちとどうやって繋がり、どう関わっていくのかを話し合ってきました。市民運動会ボランティアを経験していない生徒が参加してくれるのか、参加してくれた生徒と地域の大人がうまく関わるができるのか不安もありましたが、当日は160名近い生徒がボランティアとして参加し、地域の一員として頑張る姿がありました。久しぶりの市民運動会を何とか開催しようと知恵を出し合い協力した地域の方々のおかげで、小さい子どもからお年寄りまで、笑顔あふれる市民運動会だったと思います。

渡地区



外江地区



地域の役員の方から説明を聞く三中生徒



自分の係りの仕事を頑張りました



グランドゴルフ楽しい～



園児も嬉しそう

学校が振替休日の日に

そもそも小学校が振替休日の日って子どもたちはどこで遊んでいるのだろうか?と思い企画した「公民館で遊ぼう～振替休日特別企画～」。渡公民館、外江公民館、育成保育園を会場に地域の方と一日楽しく遊んで交流しました。公民館長とこいのぼりを揚げたり、お弁当と一緒に食べたり、園児と遊んだり、平日にしかできない体験をしました。子どもたちが安心して気軽に入れる施設が地域にあることは、とても大切なことです。普段からご家族で足を運んでみてくださいね。もちろん、中学生、高校生、大学生も大歓迎!



築谷館長とこいのぼりをあげるぞ



柘植館長と楽しいランチタイム

観ているとどこか懐かしく、子どもの頃を思い出す「ポツンと一軒家」という番組が私は大好きで、いつも欠かさず観ています。その家の主に取材すると決まって子どもの頃の話をして。一度は都会に出ても故郷を忘れないのは、子どもの頃に見た景色や家族との思い出があるからです。楽しかったことや人のぬくもりの記憶が、不便な生活でもそれを心のやすらぎに変えてしまうのだと思います。少子化対策に、私たちは何をしたらよいのかわかりません。でも、笑顔で子どもたちに接することは誰にでもできることかなと思います。私は、毎日学校で子どもたちから元気もらっています。 文責：高梨 典子（地域学校コーディネーター）



小学校は、春の遠足で地域を巡りました

(写真は渡の日御碕神社)